

(1) 討議前の準備

事例研究をスムーズに実施するために、参加者の中から司会者、板書係、清書係、発表者等の役割担当を決めておく。しかし、役割にこだわることは禁物で、全員が同様に発言し、知恵を出し合う。

(2) 班別討議

4段階法による災害事例研究の進め方は、事例の難易度にもよりますが、60分前後が目安。時間が充分に取れない場合は、どの段階から始めてもかまわない。その場合には、その他の段階を自主課題としてしっかりまとめておく。

(3) 全体討議

班別討議が終了し、結論までできあがったら各班が質疑を交えて発表。その発表に基づいて全体でさらに討議。

(4) 講師講評

最後に講師が各班の発表の講評を含めてコメント。班別討議の結果は、問題点の取り上げ方やその選択によって、再発防止対策等で違う結論にいたるが、重要な点については理論的に一つの筋が通っていなければなりません。

災害事例研究の実施方法 例

